

〈目標〉安全を意識することができる。  
〈方法〉バス乗降時、教室移動のときの階段の歩き方、てすりに確実につかまる、足下、背後の確認  
・給食後のゴミ袋の片づけ、委員会でのトイレトペーパー配り等

スイングホース、ブランコ、トランポリン、エアートランポリンの遊具遊びでバランスや身体の使い方の学習をしている。その遊具の遊び方を理解した動きを自分から楽しんでいる。

・良く話を聞いたり、見たりして意欲的に活動に参加することができる。  
・活動を繰り返し行うことにより、自分のすることがわかり、見通しをもって、スムーズに取り組むことができる。

#### 到達目標

・友達や教師と一緒に、いろいろな活動に参加して楽しめる。

#### 指導方法

・なかよし遠足、宿泊学習、スポーツ祭、修学旅行などの各種行事のための事前指導や「なかよしになろう。」「ダンダンランドへ行こう。」「レストランへ行こう。」「もうすぐ中学生」・・・などの単元を中心に、楽しい雰囲気の中で、興味ある活動を教師と一緒にいった。

宿泊学習の事前指導では、実際に布団を敷いたり、カレー作りのじゃがいもを切ったりと実際に近い場面を作り、教師や友達と一緒に楽しく新鮮な気持ちで参加できるようにして、いろいろな活動を経験できるようにした。

初めは恐怖心があるものでも、教師と一緒に見本を見せながら活動することで、楽しさを感じる活動が多数あった。(段ボールのトンネル・迷路)

・「レストランへ行こう」では、学習内容を段階的に提示し、繰り返しの模擬学習を通して、注文や会食・支払いの学習に慣れさせていった。呼び鈴やレジスターを本物に近い物を用意したことで、興味が喚起できた。見本を見せることや「トントン」などの都を伴う学習が効果的である。

・「もうすぐ中学生」では、お別れパーティーの内容に合わせて楽しい雰囲気準備を進めながら、中学生への期待感がふくらむようにしていった。

教室の飾り作りでは、次年度の6月の掲示カレンダーを担当し、お花紙を丸めて貼りながら紫陽花の花の模様で完成した。「ごよごよごよ。」と言いながら紙を丸めるのが得意である。)また、紙を折って切り込みを入れ、再び広げて模様を作ることも好きで、教師の補助でたくさんの作品を作って生かすことができた。

劇の練習は、見本を見せることで嫌がることもなく、楽しく参加できた。

#### 課題

・教師が1対1で言葉かけをしていかないと、制作中の作品の紙でも細かくちぎってしまう。

・劇の発表に着的衣装等では、ビニールや飾りを引っ張るのが好きで、破いてしまう。(段ボール等の衣装など、破りにくい物を与える配慮が必要である。)

〈到達目標と指導方法〉・友達との活動を通して手をつないだり、友達とペースを合わせて移動したりできる。

・自分と他者とのやりとりの中で、自分の気持ちを言葉やサイン、写真、絵カードなどで伝える。

・挨拶など、日常生活場面に応じた言葉のやり取りができる。

・友達と一緒に仲良く遊び、共に活動する経験を積む。

・身近な大人や友達に落ち着いて自分の気持ちを伝えて行動することが出来る。

〈現在できること〉・友達をしっかりと意識して(歩調を合わせるなど)移動する場面が増えた。

・ジェスチャーやマカトンサインだけでなく、言葉で伝えようとする場面が増えてきている。

・「待つ」「本」「読む」「勉強」などはマカトンサインで表現できるようになってきた。

・見通しが持てれば、しっかりと待つ活動ができるようになった。

・他のクラスの教師や他の友達にも、ジェスチャーやマカトンなどで気持ちを伝える場面が出てきている。

・1日の生活の流れや授業の中での流れに見通しを持って、落ち着いて活動できる場面が増えている。

・教師が言った言葉を模倣して言うことが多くなり、発音や音節もさらしく言えるものが出てきた。例えば、「ごめんない」「ありがとう」「おいしかった」など

①到達目標・・・みんなと一緒に楽しく、遊びや調理活動に取り組むことができる。

①指導方法・・・友達の動きに注意を向けさせて「○○さんと一緒にやってみようね」など言葉がけをする。

②到達目標・・・調理活動や清掃活動などにおいて自分のできることを少しずつでも増やす。

②指導方法・・・清掃活動ではモップを自分の手に持たせて廊下を清掃したり、調理活動ではキュウリを切ったり、キャベツをちぎったりさせて、出来ることを増やしていく。

- ・ろうそくを消すことができる。
- ・補助してもらってマッチを擦ることができる。
- ・補助してもらって卵を割ることができる。
- ・補助してもらって包丁でキャベツ等の野菜を切ることができる。
- ・補助してもらってお好み焼きやホットケーキをひっくり返すことができる。
- ・友達や介助者と一緒に買い物をする事ができる。
- ・友達や介助者と一緒バスや電車に乗ることができる。

色々な素材や道具を取り入れて感覚刺激を高めたり、行事を通して生活経験の拡大を目標に学習している。素材や道具にしっかり触れるようにしたり、視聴覚教材を使って具体的なイメージがもてるようにし、興味や関心を持たせるようにしている。集中力がとぎれると物を投げたり、紙などをクシャクシャにしてしまうことがあるので、教職員が側について言葉がけを行ったり、周りに意識がいかないように学習環境を整えたりして、集中力が持続出来るようにしている。

- (目標)・調理では活動の内容がわかり、自分からしようとする事ができる。
- ・買い物の仕方がわかり、自分でお金を出して品物を受け取る事ができる。
  - ・台布巾の使い方がわかり、自分の机を隅々まで拭くことができる。

- ・動作に歌を付加して取り組むことで、歌を聴くと思いついて自分ですることができた(「そでまくり〜」や台布巾を前後に動かす時の「うんこらしよ〜、どっこいしょ〜」など)
- ・調理、買い物等好きな活動は、とても積極的でスケジュールを見て、自らエプロンの準備をし、着席することもあった。一つひとつの活動はよくわかり、道具と一緒に持って、真剣に手元を身ながら取り組むことができた。

クラスメイトや先生と同じ集団で歩き、電車にのって楽しめました。初めての建物や人々のいる所でも落ち着いていられました。(施設見学や他校との交流で)

- ・学校生活におけるさまざまな体験を通して、好きなこと、関心のあることを増やすことを目標にしています。
- ・また思いや要求を動作や発声で周囲に伝えることを目標にしています。
- ・要求を伝えた時には、教師がしっかりと本人と確かめ合うことで、伝わることの楽しさを感じ、今後の意欲へとつながるように支援しています。

- 見通しをもって行事や校外学習に参加することができる。
- ・事前学習でビデオやスライドを見て、具体的なイメージをもたせる。
- ・写真絵カード等を使用し、活動内容工程表作りに取り組む
- (課題)具体的なイメージをどこまで持つことができたか確認は難しいが、当日は意欲的に取り組むことができた。
- 簡単な調理に取り組むことができる。
- ・ホットケーキ、お好み焼き等同じような工程で作れる調理を繰り返す。
- ・畑で作った野菜を使用して調理をする。
- (課題)マスクの使用が現在は難しい

調理実習。学習グループでホットケーキミックスや小麦粉を使用したお菓子作りなど簡単にできて見通しの持ちやすい実習を年に6〜7回行っている。食材やビニールに興味向きな作業に集中できないが、出来るだけそれらを遠避け、職員と一緒に注ぐ、混ぜるこねるなどの作業を時間を短く区切りながら取り組んでいる。給食の時は大変喜んで今まで食べにくかったイチゴやミカンの缶詰なども食べられるようになって来ている。スーパーでの買い物学習。順番に商品選び→レジと買い物をするが自分の順番が来るまで気もそぞろで待ちきれず、ジッとスーパーの様子を見ている(おもちゃも触らず)。昨年度よりも商品を触らないようになり二人の教員がつかなくても(一人の教員がつかだけで)買い物をさせられるようになってきている。

- ①集会(うた、ゲームなど)・・・友達が踊るなどの動きを見て楽しむことが多いです。集団の中にいることは大好きですが、やや興奮しすぎることがあります。
- ②調理・・・道具を持ち混ぜたり、こねたりということを中心に活動しています。教員と一緒に経験しています。
- ③買い物学習、レストラン学習・・・バスにのったり、電車にのったりは大好きです。
- ④校外学習(行事のポスターはり、公園)・・・外に出かけることも、大好きです。

### 買い物学習

自動販売機でジュースを買う(手作りの自動販売機で学習した後、実際に買いに行く)

### 清掃活動

ごみを教室内のゴミ箱まで捨てに行く。

### 花の水やり

生活で植えたミニトマト、パンジーなどに水をやる。(ペットボトルやじょうろを使う)

主に調理学習を行いました。完成を楽しみにし、毎回積極的に手を伸ばして活動していました。ほとんどが教員と一緒に道具を操作するという活動ですが、砂糖が入っている大さじを一人で持ち、ポウルに入れる活動などもよくがんばっていました。

グループ学習の中の「歩行」、農作業を中心とする「生活」の時間に置いて、体力増進を目標にした。夏場はすぐに体温が上昇するので、水分補給と休憩を十分に摂りながら活動。冬場は逆に低体温となるが、動きが活発になってきたので移動距離や運動量を増やして、活動。

カードと実物のマッチングを取り入れ、買い物をする。

給食時の係活動～お盆を並べる

・牛乳カードを配る。

・牛乳を配り、カードを回収する。

自分の給食をお盆で机まで運ぶ。

朝の仕事～かばん、連絡ノート、タオル、エプロン、おしぼりを所定の場所に置く。

・カーテン等で仕切った着替えスペースで、スキーウエアの着脱(下校時)もする。

・バスカード、給食カードを職員室へ持っていく(教師と)。

・ゴミ捨て(一人で出来る)

・仕事カードにはんこを押す、シールを貼る。

### 到達目標

・いろいろな教材や教具への興味を広げ、遊びや生活の質を高める

好きな遊びや活動を増やす

教師と一緒に調理や買い物、外食等を経験し社会性を伸ばす

友達と一緒に楽しく遊ぶ

### 指導方法

・好きな材料や好きな道具を取らせて遊びや作業に興味を持たせてから、他の材料や道具も使うように促す

・教師と一緒にしながら擬態語などで声掛けを詩、楽しい雰囲気の中で作業させる。

・写真やVTR等で見通しを持たせて学習に意欲を持たせる。

### 課題

・特定の教師への依存心が強く、また物(教材)よりも人への関わりが多くなる傾向があるので、担当する教師を単元や学習内容によってかえていく

・自分の苦手なことが分かっていて自信がないとしようとならないので、一緒にしながら褒めて自信を持たせ、取り組ませる。

高等部では生活単元学習は行事の事前、事後学習や文化祭の舞台発表の練習が主な内容です。本人の課題としては仲間といっしょに話を聞く等周りを見て自分も同じことをやろうという気持ちを育てるを目標にしました。高2の頃は大人がそばにいての声かけや補助が多く必要でしたが、高3になってからは細かいことでなければ(たとえば室内での移動や物を取りに行く等)友達と一緒にいえるようになりました

①調理・・・おおまかな手順が分かり援助を受けながら楽しく調理することができる

②わかば祭・・・活動の内容を知り、制作の過程を楽しむことができる

③染物・・・作業の中で色や素材の変化を楽しむことができる

④パーティー・・・プレゼントや飾りのできる家庭を楽しみながら作業を行うことができる。

指導

の内容・方法①少ない手順でできる物を選び見通しがもてるようにする②握る等のできる動作を取り入れて模様作りを行う。④好きな素材を選び作業を行う

【校外歩行】公園では、毎回アスレチックに走って行き、高いところから友達や教員に手を振ったりして楽しむ。トンネルなど、新しいところは怖がるが、慣れると入ることができる。気持ちの状態により、スムーズに歩かず、すわり込んだり、車道でも大の字になって寝転がったりして抵抗する。危険認知力が低いので要注意である。

【学習発表会】練習中は踊りはもちろん、ペアを覚えたり、座って待ったりすることもよくわかってきた。腕を動かして小鳥の真似をしたり、回ったりなど、教室でも練習して楽しむことができた。

【調理学習】「いもち」作りで、ビニール袋に入ったいもをmondari、教員と一緒にフライ返しを使っていもをひっくり返したりできた。積極的に作業に参加するが、食べようとはしない事が多い。

【質問1】各学習における到達目標と指導方法、ならびに課題について

1. 教科領域学習

4) 作業学習

・手元を集中してみながら作業することは難しいが、ビーズ通しなど、なんとかできる。

・手指機能→ひもとおし、びっくりゲーム(ナイフをさしていく)、ぬいもの  
 ・粗大運動→トランポリン(片手をもって跳ぶ)、体操(手をもってさせる)、バランスボールを使って、柔軟体操、アキレス腱・ふくらはぎマッサージ  
 ・言語→返事活動「ハーイ」と言って手を挙げる発生を促す、補助してあげさせる。  
 ・家庭科での調理実習。裁縫実習。

現在はおこなっておりません。

・土運びはバケツをたてに持ち運べるが足元が不安定なので介助が必要。  
 ・とんかち、のこぎり等用途は理解しているが、道具は手元が細かい作業は増えたり、手元を見ないので道具がうまく使用できない。  
 ・危険の認知が弱いので、火や道具を安全に使うことは難しい。

小学部はありません。

・物をしっかりと握ったり、掴んだりできる。・・・はさみなどの道具をうまく使うことが難しいので、ひもとおし、やすりかけ、ボトルしなどめ本人が好きな活動を中心に学習し、長時間頑張る事ができることもある。  
 ・同じ活動を最後までくりかえしつづけることができる。・・・1. 2回活動すると(仕事)自分からおしまいにして、すわりこんでしまうことが多かったが、モップかけなど終わりを見通して、最後までがんばる力をつけつつある。

バケツを持って運搬作業を少し行う程度

今年度は印刷班に所属し、プリントごっこで印刷作業に取り組んでいます。目標枚数まで集中して作業に取り組むことと、きれいに印刷できる枚数を増やす事を年間目標としています。年度初めは、作業への集中時間が20分くらいで、周囲の様子にも気をとられてしまいがちでしたが、夏休み明けくらいからは、時間いっぱい(約50分)作業に取り組むことができますようになりました。

その他、作業手順も数回の説明と他の生徒の動きをみて、すぐに覚えたようです(用具の使い方や作業終了時の報告なども)。また、印刷する紙を所定の位置に正確にセッティングすることが当初難しく、手元に注意する事が課題でしたが、繰り返し声掛けと手本を見せる事で、一人でできるようになりました。そして紙が所定の位置からずれてしまうと、教師の声掛けがなくても、自分で直そうという様子もみられています。今後の課題は、印刷用紙の扱いを丁寧にすることがです。力加減を調節する事が難しく、どうしてもしわをつけてしまうことが多く見られるため、付箋をつけ、その部分を持つように促しながら取り組んでいる状態です。

「到達目標」

目的の場所まで、物を運びもどつてくることができる。

「指導方法」

物を手がかりに目的の場所まで行きます。

「課題」

ずいぶん理解できるようになってきているものの、狭い作業室で又は、足元が不安定な畑で、一人で歩くのは、活発な生徒との接触等で不安。

・工芸班に所属し、紙すきを行っている。

・注視、追視すること、因果関係を学ぶ事を目標としている。  
 ・ハサミや調理器具など道具に対する興味はあるが、正面からの提示は捉えにくいので(視界の点で)、左右の端から移動させながら提示し、見るべき対象を本人の視界にしっかりと入れる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部に入学し、「木工班」で仕事を行っている。</li> <li>・一学期のはじめの頃は、「さいばし」のやすりかけを行っていたが、やった成果が見えにくい事、持ちにくい事などから、長続きせず離席したり、イタズラを始める事が多かった。</li> <li>・上記の反省から、複数の仕事を用意し、組み合わせる事で短い時間ではあるものの、集中して取り組む事が出来るようになった。また、しっかりと出来るようになってきたという、満足感、達成感から仕事への意欲、興味も育ち、離席したり、イタズラを始める事はすくなくなった。複数の仕事とは・・・なべしぎづくりで板をガスバーナーで焼く仕事→教師と一緒に手を添えて、焼いた板をすす落としをする(ブラシで)、すすを落とした板にワックスがけをする(布きれで)、鍋敷きの小田もステンシルで色付けをする、かんなでの削りくずを小さな袋に詰める→お風呂用の芳香剤になる、かんなの削りくずをミキサーで細かくする→ボタンを押したり、くずをミキサーに入れる。</li> <li>・また、準備、片付けではモップかけや椅子の上げ下げを中心に行っている。椅子の上げ下ろしは一人で出来るようになってきた。</li> </ul>
<p>教育課程に位置つけてありません。</p>
<p>(紙工作業) 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程を理解し、目の前の作業に対して、自分から手を出して作業に取り組む</li> </ul> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に同じ分担を行い、見通しを持ちやすくする。</li> </ul> <p>◎特に紙工の作業では、紙ちぎりはそれほど興味を持って取り組む様子はないが、興味の持ちやすいミキサーのスイッチ、タイマーのスイッチなどを担当させている。</p>
<p>ものの操作 「到達目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンジ刺し、スタンプ押し、ビーズデコレーションなど手、指を使った活動をし、気持ちを落ち着かせて取り組んで欲しい。</li> </ul> <p>「指導方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宏之君が興味を持てるような教材教具を工夫する。</li> <li>・視線が手の方に向くように声がけや指さして伝えていく。できた時には大いに褒め、次のステップに繋げていく。</li> </ul> <p>「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中できる時間が短いので、何種類かの活動を少しずつ細切れに行っている。ある程度まとまった時間、一つの事に取り組めるようにしていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい作業が出来る。自分の興味を持った作業や、お気に入りの道具を使ってする作業は集中力が長続きする。少しでも長く作業活動をさせることによって技能面の向上が期待できると思われる。反復継続学習をさせている。同じ用法、同じ順序で行う。技能面においては出来る作業「両手で運べる荷物を運ぶ(少々思い物)作業・指を使って摘む等細かい作業」を中心にさせている。</li> <li>・作業に飽きてしまった場合はそこで活動を終了させて、気分転換し、情緒の安定を優先させる。本児の場合は散歩や興味の示したもでも遊ばせるようにしている。頃合いを見て再度活動させるようにしている。少し時間を空けると、飽きてしまった活動も再度意欲的にする場合があった。</li> <li>・作業に向かう時は、「作業始まり」・「作業終わり」の挨拶や作業時間の設定などの時間のけじめはしっかりとさせるようにしている。</li> </ul>
<p>ペットボトルのラベルをはがしを1時間程度集中して取り組めるようになった。はがしたラベルは初め投げ捨てていたが、約1年継続する事で、手渡ししてくれるようになった。座って、作業に集中する時間が1年間で格段に延びた。ふたの部分を指導者が持った状態で作業しているが、袋から自分で1本取り出し、ラベルをはがし、ラベルとペットボトルを別々の袋に入れられるのが最終目標だと思っている。</p>
<p>単純作業(おしぼりをたたむ等)は出来ない。見守り下に職員の手伝い、職員との共同作業のはのぞめない。(おしぼりをまく作業→常に誰かが側に付き、声掛けをすれば出来る。おしぼり等の入ったかごを運び、テーブルに持って行く事は出来る。高等部卒業式の時、卒業証書を一人で受け取りに行きました。母)</p>
<p>実践していませんが、将来に向けて学校生活全般に置いて様々な力を育てています。</p>
<p>(目標)運ぶ活動を長く続ける事ができる。 (記録)中学部になり2年間は農業作業班に所属している。主な活動は、物を運ぶ活動が中心。雑草が入ったバケツを運ぶ活動や教師と一緒に一輪車の落ち葉を入れて運ぶ活動を行ってきた。大根やカブの収穫では、土に埋もれている野菜を教師と一緒に抜き取り楽しむことができた。</p>

まだ、小2ですので作業学習としては、取り組んでいませんが、本児がお手伝いにとっても興味を持ちだしたので、日常生活場面で本児にできるお手伝いをさせています。(教員と一緒に体験する)

#### 目標

- ・場面の状況や大人が使用している事がわかり、自分もできるようになりたいというあこがれの心を育む。
- ・自分が自信を持って取り組めるお手伝いを楽しみ、有用感や自尊感情を育てる。

#### 活動

- ・学習時の机、イスならべ
- ・おもちゃの片付け
- ・給食のおぼんの片付け
- ・教室移動の時の学習用具の運搬など

目標)・手元を見て、短時間の作業課題に取り組み事が出来る。

・物作りなどの楽しさを感じながら、好きな事を見つけて作業を行う。

指導方法)・一緒に作業しながら丁寧に手順を説明する。

・除除に支援を減らし、自分で出来る事を増やす。

・上手に出来た時は、十分に褒めて、出来上がった作品に愛着を持てるようにする。

紙を意図的に大きさを決めてちぎることができる。例えば、大きな紙で小さくちぎった紙を包む、小さな紙を、ゴミ箱に入れる。

時間いっぱい、根気強く作業に取り組む。貼り絵等、ストップウォッチが鳴ると終わることを約束して初める。

登校では行っていない。

・学校ではクラフトグループに所属しています。紙すき・木工・紙粘土を使っての作品作りをしました。

#### 目標:

・作品の完成を楽しみに意欲的に行動する。

・作業を見通して主体的に活動する。

・紙や木、粘土等の素材にしっかりかかわる

・道具の扱いに慣れる。

#### 取り組み:

・学期を通して一つの素材をテーマに作品作りを行った。

・紙すきのドロドロした感触や紙粘土の感触などをしっかり味わう時間をたつくった。

・昨年度の経験(道具の扱い方等)を生かせるような取り組み、作業内容を考えた。

・手指を使ったペグ差し。

・はさみを使って紙を切る。

窯業班で運びの作業をしました。教師と一緒にバケツを持ち、粘土を運ぶことができました。

木工班では、ヤスリで木材を磨く作業をしました。補助具に木材を付け固定することで、磨き易くすることで、ヤスリを持つ手を動かすと木材の角等、きれいに磨くことができました。

歩行が安定している為、木工班でも運びの仕事を担当しました。片方ずつ、木材を手でしっかりとにぎり、運ぶことが出来ました。

#### 〈到達目標〉

・手指の操作性や道具の使い方に慣れる。

・作業に向かう姿勢を育てる。

#### 〈指導方法〉

・教室の床の雑巾がけをする。

・ペグさしやシール貼りをする。

・調理でハサミ等の道具を使う。

#### 〈課題〉

・両手をしっかり使って雑巾がけをする。

・机を布巾で拭く。

・はさみ等の道具を使うことに慣れる。

校内での、作業班は「紙工班」に入って作業を行った。内容は、紙ちぎり、ミキサーがけ、紙漉であるが、紙ちぎりでは牛乳パックを短冊のように、縦に切りよく煮て柔らかくして、表裏のラミネートをはがした。本児は引っ張ったり、はがしたりすることが大好きで、このラミネートはがしは、よくやる。その後の牛乳パックちぎりも、ちぎりやくしゃくしゃにするのが好きなので、有る程度良くやった。



物をつかむときの力の加減

小学部ではしていません。

(農業班、ペットボトルリサイクル)

(到達目標)

- ・バケツを使用し、握ると置くの手の動きを意識することが出来る。
- ・決められた場所へ運ぶ。
- ・土の感触を楽しむことができる。
- ・手元をよく見て、ペットボトルのラベルをはがす。

(指導方法)

- ・同じ動作を繰り返し行い、その都度言葉がけをする。
- ・様々な土に触れる機会をつくる。
- ・活動の流れを絵カード等の視覚サポートを活用して定時、見通しを持って行えるようにする。

(課題)

- ・作業に向かう集中が短い。道具を使った作業。

「作業学習」という位置づけで教科は設定してないが、個別の学習の中で、本人が好きな電気仕掛けのおもちゃのスイッチを触ったり、ペットボトルのビニールをはがしたり、「手指の機能性」を高めるといふねらいで教材を提供している。

(到)手先を使った細かな仕事より、体を使った外で行う作業(農園共等)の作業を中心に皆さんと共に働く力を養う。  
(指)運ぶ作業等、作業内容に見通した持ちやすい簡単な仕事を主にしながら、周囲の環境に慣れさせる。  
比較的外的な作業内容が本人の適正にも合う様に思われた。作業内容そのものも関係ありますが、それ以前に本人が周囲の環境に慣れること。安心できる事が先の課題であったが、その環境の慣れに2年間の高等部生活を通してクリア出来て来た。

到達目標

- ・簡単な作業工程を理解して、一定時間作業を続ける事が出来る。

指導方法

- ・作業学習において・・・牛乳パックのラミネートをはがし(途中まではがしてあるラミネートを最後までではがす)
- ・校内実習において・・・ねじのような部品を手でもぎとる→穴が開いたタッパーの中に入れる(プットイン)
- ・校内実習において・・・手動シュレッダー(ハンドルを回して紙を裁断する)

課題

- ・ラミネートをはがしについては、両面ともはがすということがまだ理解出来ていないので、片面だけで終わりにしてしまう。
- ・体調によっては、ほとんど作業ができな時がある。
- ・作業は基本的に好むが、自分のやりたいようにやりたがるので、一対一の対応が必要となる。

離席も少なくなり、みんなと一緒に作業に参加できる様になっている。声かけは必要だが、紙をちぎったり、(牛乳パックの)フィルムをはがしたりなどができる。また、粘土をまるめたりちぎったりして形作りができる。  
スキルスクリーン(ビーズ通し)では小さな穴をよく見て通す事ができた。普段は注視することが少ないが、よく作業に集中し、持続してできた。

- ・ Tongueを使っての煎餅焼きでは肘を支え高い位置に安定させる事で、Tongueで煎餅を缺、外側に手首を返し上手にひっくり返す事が上手できるようになってきた。
- ・ラベルシール貼りでは、肘を中心とした介助で、シールを右端を摘んではがす(右利き)ようにし、まっすぐに貼る様リードする事で上手できるようになってきた。
- ・蠟チップを小さな容器に入れる作業では、左手で容器を持ち指先で10cm程のチップを上手に摘んで入れる事が出来る様になってきた。
- ・いずれの作業においても作業の段取りが分かり見通しが持てる様になるにつれ、注意が逸れても声掛けによりすぐに手元に気持ちが向く様になり、当初に比べて根気よく作業に取り組むことができるようになってきた。



〈目標〉

- ・窯芸に慣れ、安全に活動する。
- ・手指の操作性を養う。
- ・簡単な分別作業ができるようにする。
- ・集中力をつける。

〈指導内容・方法〉

- ・窯芸の環境に慣れ楽しく活動出来る様に支援していく。
- ・繰り返し、取り組む中で大間々な手順を理解し、自分でできる部分を増やしていく。

〈具体例〉

- ・湯飲み、皿作り・たたら機使用～作業の工程は理解できる。たたら機のハンドルも一人で回せる。
- ・牛乳パックちぎり～指先を使って、細かくちぎる。
- ・ラミネートはがし～とりかかりを作ってあげれば、うまくはがせる。
- ・エコパック解体・分別～トレーを置き、見本を示せば2～3種類の分別ができる。
- ・台車の操作～物をのせスロープを降りられる。うまくカーブできる。スピードも落とせる。

〈目標〉

- ・目的をもって集中して作業に取り組む。
- ・お互いに協力して作業に取り組む。
- ・手指と道具の操作性を高める。

〈指導方法(内容)〉

[紙すき作業]

- ・ラミネートはがし
- ・紙ちぎり
- ・牛乳パック切り
- ・印付け
- ・ミキサーかけ
- ・紙すき
- ・製品化
- ・販売

[農作業]

- ・畑での種まき(だいこん)
- ・収穫

〈課題〉

- ・作業への意欲を高める。
- ・おおまかな見通しを持つ。

〈内容〉ピース通し、紙を折る、切る、貼る、ストローのれん作り

〈目標〉決められた時間や分量を最後までやり通す。簡単な作業の手順や指示を守る。

〈指導の方法手立て〉時間内に取り組む分量を初めに提示して、伝える。慣れるまで、作業の工程を確認しながら進める、使う用具や材料の配置や並べ方で、手順を伝える。

〈内容〉ハンディモップ作り(布を裂く、裂いた布をハンガーに通す)

〈目的〉決められた時間や分量を最後までやり通す。簡単な作業の手順や指示を守る。仕上がりの報告をする。

〈指導の方法手立て〉初めに、時間内に取り組む分量を提示して伝える。使う用具や材料の配置や並べ方で、手順を伝える。色の順番や個数を決める。ボカを使用する。

〈内容〉粘土になれる(ひも作り、団子作り)、箸置き作り、メダル作り、小皿作り

〈目標〉粘土を触って、形の変化を楽しむ。ひもや団子の形を意識して作る。見通しをもって取り組む。

〈指導の方法手立て〉扱いやすい大きさにして提示する。丸める、伸ばす、転がす等、教師と一緒に取り組みながら、扱い方を伝える。時間内に取り組む粘土の分量や完成した数等で、終了が分かるようにする。

〈内容〉紙工(1. パック切り、2. ラミネートはがし、3. パルプちぎり、4. 紙漉き)

〈目的〉作業内容がわかり、見通しを持って作業する。道具の扱いに慣れ、使い方を覚える。一定期間、集中して取り組む。もの作りの楽しさを知る。

〈指導の方法手立て〉写真や使う道具、材料などを工程に合わせて提示する。初めは、教師と一緒に扱い、徐々に援助を減らしていく。時間内に取り組む分量を初めに提示する。4つの工程を数回ずつ行う。

本校は肢体不自由養護なので作業学習は行っていません。

小はありません

手指は大変器用である。リースに飾りを付ける場面で、針金を通す小さな穴を自分で発見し、そこに飾りの針金を通そうとしていたことがある。感触遊びの学習が好きで、手指をたくさん使うことができる。調理の時も集中し、はさみなどの道具も目的別に使っている。(はさみは半介助だが、自分でやり方も理解していて危険な真似はしない。)

作業学習ではカレンダー制作を行っている。活動に見通しを持ち、積極的に取り組むことが目標である。しかし、商品としてのカレンダーを作るとなると、スタンプ押しなどの活動をどうしても教師と一緒にこなうこととなり、自分の思う様に自由に活動出来ないことを嫌い、トイレのサインを出すなどしてその場から逃げようとするが多かった。3学期に行った紙すきの作業は自分のペースで行えるため、積極的に取り組んだ。

(目標)・作業内容の見通しを持ち、意欲的に取り組む。  
・完成品を見て、達成感を味わうことができる。  
(指導方法)・いろいろな作業を体験させながら作業内容の手順、方法を理解させていく。  
・作品完成の喜びを味わせる。  
(評価・課題)・「マーブリング」では、水遊びを楽しんでしまうこともありましたが、水面に彩液をたらすと、紙を手にしてバットに入れたり、模様を写し取った紙を取り出そうとしたりと意欲的でした。  
・「ラミネートで作るランチョンマット」では、切れ目をつけた紙を手前に置くと、手ざわりや紙音を楽しんだ後に、ちぎることができました。ラミネートの機械にも興味を示し、スイッチを操作した後、楽しそうに出来上がりを待つことができるようになりました。  
・「コースター」では、布端のふさを作る為の糸ほぐしを頑張りました。どの糸を引くかを示すと、気持ちよく糸を抜き、次々とほぐすことができるようになりました。また、型抜きされたアイロンパッチに決められた時間アイロンを掛けることができるようになってきました。  
・「紙すき」では、校内実習の経験が生かされ、落ち着いて牛乳パックを何枚もちぎることができるようになりました。  
[校内実習]では、パルプ班の一員となり、主に「紙ちぎり」と「ミキサーがけ」を中心に行いました。一連の活動内容を理解すると飽きることなく作業に取り組み、新たな行程となる「ミキサーでほぐされた紙の入った容器を運搬し、回収バケツに注ぎ込む」活動にも挑戦するなど、意欲的に取り組むことができました。

・中学部に入学し初めての作業学習は「紙工」を1年間行いました。  
・恭介君の担当や牛乳パックを細かくちぎる作業とペットボトルで色紙を水で溶かし色水を作る工程です。  
・紙ちぎりは単調な作業であきても遊んだり、他害行為に走ってしまいますが、水が好きな恭介君はペットボトルを振って色水を作る作業は楽しみながら実践できました。

(目標)・手足、指の操作技能を高め、身体の発達を促す。  
(指導方法)・月に2回療法士による肢体訓練を受ける。(マッサージ、バランスボールを使った訓練など)  
・大豆を使って刺激、感触を楽しみながら高めたり、ペグや粘土に棒をさすなど指の訓練をする。  
・散歩をする(いろいろな遊具を楽しみながら)  
・花だん、畑の水やりをする。  
(課題)・繰り返し訓練を行い、バランス良く歩ける様になること。  
・指先に力が入り、スプーンやフォークの使い方が上達すること。

紙漉の紙ちぎりは2Cm四方位の大きさにちぎるのは難しいが、担任がついて大きめの紙を渡すと半分がちぎることができる。大きい1枚を少しずつちぎるのは難しいので1枚を半分にしていくことで量を多く活動できる。一人でもできる。木工では電動の機器に興味し、興奮すると力が入ってしまったり、機器の振動している部分を触りたがる。木のやすりがけは固定して片手でこすることができるが、単純な活動なので集中はとぎれがち、10まで数えたり見通しがあると一人でも活動する。

粘土班に所属(プレート作り班)  
(目標)作業に集中して取り組むことができる。  
(方法)・自分の担当の仕事を一定時間集中して行う。  
・粘土の型抜きの目標枚数を決めて取り組む。

図工の授業でハサミや筆などの道具の使い方を教員の見本を見て、上手に模倣し自分なりに使いこなして作業し、できあがりを見て楽しむことができる。働きかけで導き出される結果をよく理科史たうえで作業を楽しむことができる。

〈到達目標と指導方法〉・自分で工夫しながら道具を使い、両手を機能的に使うことができる。  
 〈現在できること〉・はさみで直線を切り進める部分が増えてきた。  
 ・2分割の玉子(いろいろな型はめ)の課題に対し、自力で開け閉めでき、落ち着いて取り組める。  
 ・ロープのたぐり寄せ動作を左右交互に力強くすることができる。  
 ・つまむ、描くなどの動作は力む事が多いが、「ゆっくり」「やさしく」と声かけするち改善される。  
 ・ペグやカードを左右の手で持ち替える動作ができる。  
 ・給食袋の中身(スプーンやフォーク、お手ふき)をケースに出し入れしたり、袋に出し入れしたりすることができる。

- ①到達目標・・・切れ目の入った布を自分の両手を使って、最後まで裂くことができる。
- ①指導方法・・・最初は教師とふたりで布を裂き、次に生徒にひとりで布裂きをさせる。
- ②到達目標・・・シールに興味をもっているのので、シールを貼ったメモ用紙をつくり、一冊のメモ帳にする。
- ②指導方法・・・シールをうまくメモ帳にのせられるように指さしや言葉がけをする。

- ・野菜を介助してもらい畑へ植えることができる。
- ・じょうろで野菜の水やりができる。
- ・水道の蛇口をひねって水を出し、じょうろに入れることができる。
- ・水道の蛇口をひねって水を止めることができる。
- ・ハサミで紙を切ることができる。
- ・補助してもらって、線に沿ってハサミで切ることができる。
- ・シールを一人で貼ることができる。
- ・プリント等をのりで貼ることができる。
- ・自分の好きな色を選んで、絵を描くことができる。

紙ちぎり・・・指先のカヤはがす、ちぎることが好きなことを活かし、紙ちぎりに取り組んでいる→はがき作り、貼り絵。20～30分と長い時間集中することができる。  
 色塗り・・・ハケ、筆など何かを持たされるのが嫌ですぐに離してしまいがちだが、画面に色が広がっていくのをじっと見ていることも多くなり、そちらに気を取られて力を抜いてハケを持つ(教員と一緒に)ことも出来る。チューブに入った絵の具などはチューブを握る力が強いので、たのしんで取り組んでいる様子が伺える。  
 畑仕事・・・外が好き。草など抜くのが好きで、大根なども上の葉っぱをむしることに夢中になっている。異食だけは注意して土や草に触れる機会を持つようにしている。

棒入れ  
 ペットボトルの中に棒を入れていく。  
 竹ひご入れ  
 直径5mm程度の穴に入れていく。  
 コイン入れ  
 横一文字の穴にコリンを両手で入れる。

教科名「つくる、あそぶ」「美術」  
 ・「貼る」  
 はけで画用紙等になりを付け貼る。  
 のりをぬる→貼る→押さえる作業を理解して取り組んでいた。  
 ・「ボール入れ」  
 散らばったボールを一つ一つ拾い箱に入れる。集中できる時はスムーズに行えた。「ふたを閉める」こともできている。

生活コース(重度の生徒が多く教師の数もマンツーマンに近い)に属し、煎餅焼きを行いました。煎餅の丸い生地を焼き台にのせ、それをトングで何度も返す。という作業です。最初はトングを持って動かすことも難しい状態でしたので手を添えて一緒につかむことから始めました。集中することも難しいので頭の後ろに手を添えて対象物を見ることや声かけの言葉を短くすることなどに配慮しました。3年生になったころにはトングでの返しの作業も含めて首に少し手を添えてあげれば裏返しにもできるようになりました。焼けた煎餅をトングで器に移すさぎょうは一人でできるようになりました。

- ①窯業・成形・模様をつける工程を楽しみながら作業を行うことができる。
- ②手芸・ランプシート・個々の工程に見通しを持ち、取り組むことができる
- ③製品販売・できるさぎように気持ちを向けて取り組む

指導の内容・方法

- ①補助具を使い模様をつけを行う
- ②紙を破く、丸めるなどの作業を楽しむ
- ③特異なことを生かして意欲が持てるようにする

【質問1】各学習における到達目標と指導方法、ならびに課題について  
2. 自立活動の学習

1) 健康の保持

「自分の力加減を少しでもコントロールできるようにする」動作法を行い、座った姿勢や、仰向けの姿勢で教師の指示で身体の緊張を緩める練習を行った。力を抜くと気持ち良く、リラックスできる事が理解できてきたようで、嫌がらずに力を抜いた姿勢を継続している。どんな時も教師の指示で、緊張を緩めることが出来るようにしたい。

- ・保護者の支えもあってか、生活のリズムもよく欠席もない。
- ・痛い部分があると、なきながら必死に訴える。
- ・緊張していることが多く、歩行・走行ともややぎこちない

・体調不良や、痛みの訴えはポーとしていたり、泣いたりといつもと様子が違うということでこちらが状況を見て判断している。  
・うがい、手洗いで風邪予防を行っているが、うがいはできないので、コップで水を飲む程度、手洗いは教師と一緒にやっているが、好きではないので、手洗いうたなどで合わせてやっている。  
・じっとしがちなので、散歩に出たりしなるべく体を動かす環境作りを心がけている。

- ・毎日することを一定にして繰り返す。
- ・給食当番、掃除活動をさせる。
- ・体温調整を衣服で行う。
- ・「オウエー」が毎日→空気の流れを良くする。
- ・お腹をたたく→トイレを気にして、様子をみる。
- ・毎日、アキレス腱のマッサージ

・家庭から連絡を受けている健康上の主な注意事項

- ①てんかん・・・てんかんの薬テパゲンを朝夕服用し、はっきりとした発作はみられない。
  - ②ハウスダスト、ダニアレルギー、温度差でくしゃみが出る・・・その都度薬を服用。
  - ③体温調節が苦手、汗をよくかく・・・夏場は特に水分補給をこまめに行う。
  - ④便秘になりやすく、浣腸をすると下痢になり、整腸薬を服用すると下痢は止まるが、また便秘になってしまう。
- ・その他

休日明けは生活のリズムが崩れやすく、排便のリズムが悪くなったり、便秘や下痢になったりすることがある。冬が苦手、登校や外出を嫌がる傾向がある。音や振動などの刺激が好きで、興奮すると筋緊張がおこり、特に状態に力が入ってしまうが、すぐに収まる。

- ・移動教室(2泊3日)では、なかなか入眠できず(1時すぎまで)、はやく目覚める(4:30頃)、敗勢はリズムが崩れないで出来る。
- ・日常的に痛みの訴えは敏感に感じてその部位を示して、伝えられる。
- ・活動の取りかかりは筋緊張や不随意的な運動、手のふるえ等が出来ることが多い。

特に目標は設けませんでした。

- ・痛みは痛い所をさわって見せてアピールすることができています。
- ・筋緊張に対しては、「ふあふあ体操」で音楽をききながらリラックスして体に触られる経験をつませることで、筋肉をゆるめることができるようにしています。またOTから教えていただいたストレッチも行っています。

・体をできるだけ動かし、体重増加を防ぐ。・・・音楽(リズム)などにあわせて動く事が好きなので、活動両が増えるように動機付けをしている。うまくやる気になると最後までがんばることができるようになってきている。  
・上肢、下肢とも滑らかな動作ができるようにする。・・・動物あるき、リトミックなどやりたい気持ちを引き出しながら、スムーズに動けるよう工夫してきている。

- ・睡眠障害がある
- ・便秘、下痢を繰り返す
- ・右脚部にバランスの片寄りがあり、歩行練習により矯正中
- ・長時間歩行は難しく、休憩が必要

学校での生活リズムは今までの積み重ねがあるため、流れを理解し、活動する事ができています。教室移動の際も、「～に移動だよ」と伝えると周囲の動きを見ながら移動できます。ただ、時折移動したくないという意味からか、椅子から離れようとしないうちがあります。強い口調で声をかけると余計に頑固に動かなくなるときがあるため、穏やかな口調で話しかけ、自分から動き始めるのを待つようにしています。

体調不良や痛みの訴えに関しては、おおむね健康な毎日を送っているため、特にみられることは有りませんが、深爪や目の違和感などがあるとその部分を指さして、処置した後でもアピールすることが多くあります。そのため、軽い怪我のときは、怪我に意識を向けさせないように、周囲もあえてそのことに触れないように接しています。

「到達目標」

余分な力を抜いて、安定した歩行ができる」。

「指導方法」

マッサージや寝返りなどをする中で、余分な力を抜いて、腰を上手に使えるようにする。

「課題」

日々の自立活動の中で、ずいぶん改善してきたものの、寝返りの時腕を胸の前まで、曲げてしまうため、体幹のひねりが出来にくかったり、連続動作につながりにくい。

- ・家庭で睡眠のリズムがくずれると、登校のバスで眠ってしまい、学校生活に影響が出る。(ボーッと、動きがゆっくりになる。支持が入らない。)
- ・体調が悪い時等、教師を呼ぶ事ができる。
- ・運動量を確保したい。

- ・朝は必ずバイタルチェックを行い、健康観察を行っている。また、連絡帳を利用して気になる事等、保護者と情報を共有するようにつとめている。
- ・身体を動かしながら、健康保持をし、体力をつける事を目標としている。

- ・生活のリズム・・・朝、登校時の様子、家庭での様子(連絡帳など)、直前何日間の様子などから判断して、生活のリズムを踏まえた上で、あらゆる指導をするようにしている。発作が時々あるため、その兆候や疲れが見える時には、十分注意して、過ごすようにしている。
- ・朝のマラソンでは意識的に体を動かして、体力の成長が格段に見られる。
- ・体育の柔軟運動などでは、可能な限り体をほぐしたり、いろいろな動きに挑戦するようにしている。

学校生活において、適度な運動量を確保することで、家庭での安定した睡眠量、規則正しい睡眠時間が作れるようにする。

生活のリズム等:日常生活学習、生活単元学習と同じ。

筋緊張の緩和:目標 ・器具や道具を使って、身体の調整力や操作性、柔軟性を高める。

◎健康の保持という面では家庭との連携がとても重要であると考えている。睡眠時間や体調、排便、その他の細かいことまで情報として伝えてもらっており、それを考慮した学習活動を行っている。

- ・ご家庭で規則正しい生活を習慣化して、下さっているのも、とても元気で体調不良による欠席は一日もない。
- ・校外学習中転倒し、骨折させてしまった。(こちらの注意と配慮が不足していた為)
- ・すり傷や”ささくれ”など、見せに来てくれて訴えてくれる。

・主な活動は歩行訓練、指手訓練である。

筋力強化とバランス感覚を養う事を目的として、足におもりをつけての歩行、障害物を跨ぐ等の活動を継続して行っている。その結果、歩行が安定してきている。バランスを崩しても転倒する事が減った。自分の筋力や体重移動で体を支える事ができつつある。足も高く上がるようになり障害物を有る程度認識するようになった。

1)健康の保持

・生活のリズムや生活習慣の形成、体調不良や痛みの訴え、筋緊張の緩和など

季節の変わり目や生活環境に何らかの変化がある場合、気分が高揚し落ち着きがなくなる場合がある。なるべく好きな事、好きな活動に集中させて情緒の安定をはかっている。

・痛みを感じている時は、患部を指で示し訴える事が出来る。治療を施すとしばらくは痛みを忘れ落ち着く。時間が経過すると痛みを再度思い出し、指で痛みを訴える。その繰り返しほとんどである。何かに集中すると痛みを忘れる。

・体の柔軟性がなくストレッチ運動すると、歩行や姿勢に改善が見られるかもしれないが、筋緊張の緩和は本人が嫌がる。

日常的に校舎内外の平地歩行、階段昇降を課題として取り組んだ。気が乗らないと座り込んでしまう事もあった。PTのアドバイスを受け、足首、ひざ、股関節のストレッチをおこなった。足首から先は触れられるのを嫌がる傾向があるため。お気に入りのおもちゃを使ったり、遊具を利用しながら抵抗を減らすようにした。夏場はプールでの歩行で運動量を確保し、夜間の安定した睡眠に繋げる事を意識した。

- ・昼夜逆転はなく、生活のリズムは安定している。
  - ・体調不良や痛みの訴えはなし。
- (家に帰ってきた時は夜中の2時頃起きて、それからは眠りません。(興奮状態) 母)

巢民障害が見られる。就寝・起床時間が不規則になり、生活のリズムが乱れ、給食の途中から眠くなり、下校時刻近くまで眠る事も少なくない。時には、登校時のバスの中から眠り続け登校後、一時間程度眠る事もあった。服薬(メラトニン・就寝前)をしている。旅行などで知らない環境におかれた時等、環境の変化で眠れなくなる。睡眠の状況は連絡帳、児童の様子時には、スクールバスの添乗員さんから把握し、様子を見ながらしばらくねむらせておいたりして対応している。しばらく眠る事で、声掛けや周りの音等で(自分から)目を覚まし、活動に参加できている。基本的にはリズムの乱れが大きくならないように、働きかけ起こし、活動に参加させるようにしている。連絡帳を通して、学校での睡眠の状況を保護者に伝えている。体温調節が難しく、夏場は38度、冬場は35度くらいの体温になることがあるため、水分補給や気温に応じた服装に注意する。外出時には陽に焼けすぎると水ぶくれになることがある。

本件については、分かる範囲でまとめます。

〈指導内容〉・自分の要求や気持ちを伝えるコミュニケーションの力、あいさつ、活動の見通し、おはよう会、友達との握手、帰りの会 以下の内容について分かる範囲で書いていきます。

- ・校外体育の後に足のマッサージをして緊張を解す。
- ・リトミックなどの場面でリラクスの感覚をつけ、力を入れたり抜いたりする。
- ・その日の体調に合わせて、活動を選択する。

(記録)・体育の時間を使って、準備体操の時に簡単なストレッチを行ってきた。

- ・痛みが有る時には、その患部を手でトントンする場面がある。
- ・登校後のトレーニングでは、グラウンドに出て歩く事で生活のリズムを整えるようにしている。友達の後を追いかける姿が多くみられる。

- ・学校生活では生活リズム快調(大便も良く出る)。出来るだけ、距離を歩いたり、運動するよう配慮。

今はまだ周囲の大人が健康管理をしています。生活リズムについては、「日中、心身共に十分活動してすこやかに眠る」ことを願って、学校生活を組み立てています。

体調不良や痛み(又はショック)はなんとなく態度で表しますので、状態を言葉かけで確かめながら受け止めるようにしています。

筋緊張の緩和については取り組めていません。

目標)・安全に楽しく学校生活をおくることができる。

- ・身体に関するイメージを広げ、日常の活動に関係する簡単な指示理解の促進を図る。

- ・アレルギーの食物の除去に留意する。

指導方法)・家庭との毎日の健康記録をもとに、健康状態を常時把握する。

- ・毎日の献立表を事前に保護者に送付し、給食の材料の再チェックを行う。
- ・身体部位をマッサージや乾布摩擦をおこなう。その際、マッサージする部位を言葉で伝える。

・睡眠障害がある・・・1日1時間程度の睡眠でも、1週間程続くことがある。日中覚醒を促しても、夜間眠ることがない。睡眠のリズムが確立できていない。睡眠のリズムが確立できない。食事の時間になると、すばやく反応し、自分でイスに座る。

- ・壁等を足で蹴ることがある・・・しかし、爪がはがれたりすると痛み、気にする。

学校生活のパターン化

- ・1時間目の体育(毎日のマラソン、ラジオ体操)

・授業終了時(毎時間)模型の時計(休み時間終了時刻に合わせる)を提示し、休み時間になることをクラス内に一人ずつつく。

- ・1日の予定を絵や写真カードで黒板に提示する。

体調不良の時等はサイン(両手を合わせて頬に当てる)で示す。

夜の睡眠時間の乱れがあり(そのため昼寝をし、また夜ねむれない)生活リズムも乱れやすい。1学期は午後になるとウトウトすることが多かったが、2学期に入り学校生活に慣れてくると睡眠不足の日でも眠ることはなくなった。体調不良等の訴えはあまり見られないが、大便をもよおした時は姿勢を曲げ、声を出して訴えている様子が見られる。筋緊張については特に問題は見られない。

目標:

- ・歩行訓練をする
- ・ストレッチをする

取り組み:

- ・OTと連携を組み、歩行の支援の仕方とストレッチの仕方を教わり、実施している。

生活のリズムや生活習慣は、ほぼ形成されている。体調不良や痛みは、身振りですらせることができる。



〈生活リズム 習慣形成〉

★睡眠

小学にから寄宿舎に入舎。当初は睡眠のリズムが安定しないことが多かったが、現在は午後9時前後に就寝、午前6時前後に起床というほぼ規則正しいリズムで生活できている。

★食事

手で食べようとする、あるいは口に食べ物を運んだ後、持っていたスプーンやフォーク、コップなどを放り出してしまうことが多いという課題があった。そのため、①手に持ち続ける ②自分で次に食べたいものところにスプーンを運ぶ ③飲み終えたコップなどを静かに置く 等の行動が出来ることを目標にし、できるだけ介助がいらないようにすることをめざしてきた。皿や茶碗を介助者が持ち上げることで、本人がそれを注視することができると、スプーンなどを放り出さず、自分ですくおうとする行動も増えてきた。

★排泄

幼少期から、尿意・便意があったときに下腹部をたたいて介助者に知らせるよう教えられており(「トイレサイン」)、はほぼ確実に知らせる事ができている。ただし、尿意も便意も無いのに、介助者とスキンシップを求めて居る時に「トイレサイン」を出すことがあり、本当に尿意・便意があるときとの判別が難しく、トイレの時だけサインを出すようにすることが課題となっている。

〈病機能状態の理解〉

体に痛みや痒みがあるときには、手で触り、顔の表情で介助者に訴えることができる。発熱や頭痛、腹痛などは、顔色や表情等から介助者が推測している。

- ・本児は便秘がちで便秘がひどい時には泣いて訴えました。腹筋が弱く、便を出す為の力を入れる場所が分からず、排便には時間がかかりました。
- ・緊張感が強いいため、朝のランニングや体育の時間には、リラクゼーションを目的にしたストレッチ運動を行いました。

〈到達目標〉

- ・登校してから下校までの一日の流れを理解し、行動する。
- ・自分の気持ちを表現し伝える。

〈指導方法〉

- ・朝の会で一日のスケジュールを確認する。(絵カード等も使用する)。
- ・クレーンで伝えようとした時、その都度気持ちを言葉で確認する。

〈課題〉

- ・簡単なサインを習得する。

自立活動の内容としては、校内方向、立位姿勢、足関節の可動域の確保を行った。しかし、歩行については、廊下等を歩いている時、他のクラスの友達や教員が気になり歩行に集中できなくなってしまうため、主に行った内容としては、足関節のストレッチや足底のマッサージであった。特に冬になると決行の悪さから足先がしもやけになることが多く、血行をよくするためにも、足底のマッサージを行った。本児に対しては、とても有効であり、マッサージをすると子持ち良くなり、寝てしまうこともしばしばあった。

静的弛緩による緩和

- ・健康状態の維持向上、管理をはかる
  - ・朝の検温
  - ・水分摂取をまめに行う
  - ・体温調節に気をつける(衣服の調節)
  - ・ストレッチや歩行
- ・体調不良については、ぐったりしたりもどしたりと見てすぐわかる状態になる。
- ・物や人にあたって痛い時は、泣き顔になって、すぐ担任の所に寄って来る。

(到達目標)

- ・自分でリラックスできるようになる。

(指導方法)

- ・マッサージ等で緊張をほぐす楽しさを感じて、少しずつ自分でリラックスできるようになる。

- ・直接、間接的(連絡帳の利用、送迎時の保護者からの情報の収集)な健康観察の実施。
- ・課題:睡眠障害に対する対応。登校時間が一定しない。

(体調不良)・体調が悪い時には、必ず泣いて表す。また、しかめっ面になる。  
 (筋緊張の緩和)・動作方の考えを基にして、指導している。からだの学習は、ほぼ毎日1時間行っている。教師の働きかけを受け入れることが出来ることが、増えて来ている。(安心してできる課題から1対1で少しずつ行ってきた)  
 ①胸の力を緩める学習: 背中を丸める姿勢で、教師が胸を下方向に動かすと息を吐きながら、胸の力をゆるめることができる。  
 ②肩の力を緩める学習: 仰向けの姿勢で行った。肩に手をおいて「1. 2. 3」と言葉かけした。床に肩をぴったりとつけて笑顔で働きかけを受け入れることができる。  
 ③足首の力を緩める学習: 仰向けの姿勢のまま足首を動かす方向に少し動かして知らせると、自分で足首の力をゆるめることができる。  
 ④腕を一緒に上げる学習: 仰向けの姿勢のまま、教師と目を合わせて、一緒に腕を上げたり下げたりする。落ち着いて取り組んでいる。  
 ①～④までの学習を行う前に、手首の力をゆるめる学習を行っている。本人が手首を反ろうとした時に力を抜くように知らせている。その後、手首の力を抜くことで、体の動きをとめて落ち着くことができるため生活場面でもよく行っている。

身体は現腱で安定した体調を維持している。風邪などで熱がある時でも、何となくぐったりしているだけで、自発的な訴えはない。歩行練習の積み重ねで下肢の筋力は発達しているが、体重が40kgを越えた辺りから、歩く意欲が低下してきた。旺盛な食欲のためもあり、腹部が多少肥満傾向にある。

- ・生活リズム(到)簡単な仕事でもよいので、きちんと出来る様になる。(係仕事)
- (指)年間を通して、同じ係仕事を行い、定着出来る仕事ができる用にさせる。

係仕事は年間を通し、簡単な仕事であったが、継続して健康観察提出係に取り組んだ。自分の係であるという意識がしっかり持てる様になり、仕事もできるようになった。

- ・体調不良は健康でほとんど無かったが、痛みの訴えでは、友達に攻撃された時はその場所を自分で持ち、その場所の痛みを、また鼻血が出た時はその場で信頼している教員に訴える事ができた。
- ・筋緊張の緩和はまだあまり改善されていない様に思われます。常に筋緊張がある為、視覚的には筋肉のついた、体格のよい筋肉質に見えるが、それが筋緊張によるものではないでしょうか。

#### 到達目標

- ・体温調節をすることができる。(暑さに弱く、熱が体にこもってしまう)

#### 指導方法

- ・水分補給をまめに行う。
- ・冷やしたぬれタオルで体や顔を拭く。

#### 課題

- ・水分補給などをこまめにしているが、暑い時期にはぐったりしてしまっている事が多い。そのために、学習に取り組む事が難しい時がある。

#### 到達目標

- ・体重管理をすることができる

#### 指導方法

- ・歩く時間を多く設ける
- ・食事の量の調節をする。(自らすくって食べる様になり。適量で、満腹感をかんじられるようになってきた)

#### 課題

- ・体重は順調に減ってきているが、まだまだ肥満傾向にあり、もっと減らしていく必要がある。

- 食事はスプーンですくって食べているが、すくう時に食べ物を見ないですくう。また一口の大きさが大きく、そのまま口に入れ、あまりよくかまないで、飲み込むので、その都度、適当な大きさを指導している。
- 食事中にトイレに行かないように、必ず、食前にトイレに行っている。
- 打ち身などで手が痛い、手を差し出し、ここが痛いのだと意思表示する。

保健室では、傷テープなどはってもらいたいと手を出す事もある。

- ・胸郭の緊張が強く漏斗胸が見られ、呼吸が浅く痰が絡みやすい。こまめな水分補給と痰が絡んだり咳き込んだりした時には十分に排痰を促す対応を行う。
- ・肩から背中、腰にかけての緊張が強いことも呼吸の浅さに影響しているようで疲れやすい。前屈みの緊張が強い時は、状臥位にて背面全体のリラクゼーション誘導を行う。また、同じような体位でしばらく休憩を取らせる事も必要。

- ・毎日学校に登校する。(学校が好きで、ほぼ達成できている)
- ・自ら体調を訴える事は出来ないので、担任が、本児の表情等から判断する。

(実態として)

・生活のリズムは整っており、体調をくずしても回復は早い。基礎体力はついている。体調不良の時は、自分で食事の調整ができる。

(今年度の取り組みとして)

- ・時間排泄の定着化(日常生活指導)～目安として9:30、12:00(1:20)14:30頃。次第に慣れ、校外でも排尿できた。
- ・ふれあい体操による筋緊張の緩和(課題別学習)
- ・朝のランニングによる体力作り(朝の運動等)

目)年間を通じて元気に学校生活を送る。

指)連絡帳等を通した家庭との連絡

登校後のバイタルチェック、養護教諭、看護師との連携(毎朝巡回)

上記をもとに毎日帯の時間帯に取り組む体づくり(上田法、ストレッチなど)

課)大きく崩れることはないが、歩行が不安定な日もあり、原因を探ることが今後の課題。痛みはジェスチャーで伝えられる。

〈目標〉

・日常生活の中で、自分で出来ることを増やす。

〈指導方法〉

・登校後の荷物整理を支援をしながら、自分でもできるように促す。

〈課題〉出来ると思われるものでも、気持ちが向かずやろうとしないことが多いので、毎日の繰り返しにより定着する。

〈内容〉①②③健康の保持

〈内容〉①②③心理的な安定

〈内容〉①②③環境の把握

〈内容〉①②③身体の動き

〈目的〉①②③手指の巧緻性を高める。①②筆記具やはさみを扱う力を高める②③座る、立つ、等の姿勢を保持する力を伸ばす。③腹筋、背筋の筋力を高める。

〈指導の方法手立て〉①ビーズ通し、線結び、紙を折るm切る等の課題を行う。②組み立て、分解、挟む、つまむ並べる、等の課題を行う。体幹を使う動きを定期的に行う。③組み立て、分解、挟む、つまむ並べる、等の課題を行う。体幹を使う動きや体のバランスを意識する動きを行う。腹筋、背筋を使う動きを行う。

〈内容〉コミュニケーション

〈目的〉①簡単な身振りや発声で自分の気持ちや要求を伝える。②③簡単な身振りや発声カードで自分の気持ちや要求を伝える。

〈指導の方法手立て〉①②③依頼する場面や拒否を伝える場面などにおいて、適切な手段を決めて、繰り返し確認する。②コミュニケーションカードの使用を試行する。③コミュニケーションカードやボカの使用を促す。身振りやカードの使用に合わせて、発声をするよう促す。

・体調が悪い場合、泣いて自分の不調を訴える。

・左凸、右凸のS時側弯がある。

・足が尖足である。

・睡眠のリズムが乱れることがある(宿泊行事ではなかなか眠れない)

保護者の報告による

・まずは朝の健康度、体調から一日の活動を調整する。一必ず動作方法やふれあい体操で心身の調整を図る。

目標・・・規則正しい生活習慣の確立

指導方法・・・朝の運動の時間にしっかり歩く、給食は残さず食べるなどして体調に気をつける。給食後にはてんかんの薬を飲む。水分補給に努め(特に夏場)たり、保冷剤を活用したりして体温調節に配慮する。

課題など・・・学校での体調は安定していた。転換の薬も喜んで飲む。給食はできるだけ残さず食べさせる様にしているが、食べるのに時間がかかり、量を減らしたりしている。スムーズに給食が食べられるようにしたい。

(ねらい)様々な動作・姿勢を体験し、身体の使い方やリラックスの仕方を知る。

(活動内容)・ブランコ・シーソー、滑り台など色々な遊具の体験をする。

・体育の授業の中で走る、歩く、登る、降りる、またぐ、渡る、横転などの体験をする。

・集会の授業の中で、模倣する、のばす、取る、バランスボール、踊るなどの体験をする。

(課題)大人の支援をうけながら、楽しく体を動かす。

生活リズムについては、家庭で様々な配慮をしてくれている、その為学校で体調不良の訴えはあまりみられない。どこかに体をぶつけてしまった時など、そこを押さえながら痛みを訴えてくることはある。

自立活動については、別紙参照

- ・朝の生活を気分にと左右されることなく出来る様に指導をしている。
- ・生活のリズムや生活習慣の形成・・・トイレトレーニング、摂食指導、水分補給など、生活に関することについては、定時排泄、給食時間、休み時間を利用し行っている。
- ・体調の不良や痛みの訴え・・・本人の表情や身体を観察し、読み取ることで対応

登校時のバスでは眠っていることも多く、朝は眠そうな様子が見られるが、それ以外は元気に活動し、学校で眠ることはない。風邪などで体調不良の時には立っているのを嫌がって座り込んだり、教師の寄りかかったりすることがあるが、特に訴えてくることはないの、こちらの観察や配慮が必要である。

- ・睡眠障害からか生活のリズムを崩してしまうことがあり、家庭からは寝不足ですと連絡があつて、そういう様子は見せないことが多かった。
- ・信頼関係ができてくると、「ここがいたい」「ここがかゆい」など表情を変えて訴える様になった。

(目標)・安定した生活リズムを保って、毎日楽しく登校し、1日を楽しく過ごすことができる。

(指導方法)・連絡帳で体調記入や「睡眠、排尿、排便などの記入表」を通して、健康管理に努める。

・表情や歩行動作から体調を把握する。

(評価・課題)・年間を通して休みも少なく、今年度(中学部3年)は風邪で4日休みがあつた。・睡眠リズムが崩れやすく、眠りが浅い等の傾向があり、連絡帳でも睡眠不足との連絡があつたが、学校ではその影響もなく元気に活動することが多かった。睡眠リズムも安定してきているが、初体験の行事や期待する行事があつたりする、興奮して就寝時間が遅くなったり、起床時間が早くなったりすることがある。・疲れている時は、目の下にクマを作ってきたり、自力歩行が安定しない(気が付かない床面の小さな突起物でつまずくことがあるので、介助歩行が多いが)傾向を見せる。あくびもよく出る。「疲れていたら寝てもいいよ!」と声かけすると、自分から机の上に上体をもたれ掛け寝入る様子も見られた。2度程度、昼休みに保健室で寝かせたこともあつたが、元気に過ごすことが多い。・水分補給も自分から水筒を指さして催促し、振ることが出来ていた。飲みたくない時は、水筒を差し出しても手でさえぎったり、顔をそむけたりして意思表示して応えた。・排尿感覚のコントロールも自分で出来る様になってきています。・排便では様式トイレに自分から入った時には便座に座らせ、声かけをしたり、下腹を押して排便を促しています。これからも「出る・出ない」にかかわらず、学校では洋式トイレに入ることは排便サインであることを意識させていければいいと思います。また、級に動きを止め考え込む排便への様子にも注意して見ていく必要を感じました。・遠足などで疲れて帰校した時には、絨毯などに座らせたり横にならせたりして休ませている。(マッサージをして側弯防止にも努めている)。・側弯進行防止の為家では、就寝時にハードコルセットを使用しています。・食物アレルギー(そば、生卵)があります。加熱された卵や半熟卵は大丈夫です。・日焼け防止の為、直射日光が強い時は日焼け止めを塗布し、屋外プールでは、日焼け止めを塗布すると共にラッシュガードを着用しています。・身体を強く握ると内出血跡を残します。・側弯防止の為、鞆等を背負わせていません。・花粉症や1月2月頃につばをプブツと小刻みに吐くことがありました(乾燥のせいなのか?)。・乾燥防止の為、加湿器を使用したり、濡れタオルを天井から吊しました。・よだれが出るので、ハンカチを渡して拭かせたり、拭いてやったりしている。・腰痛防止のため、体重の増加には配慮が必要である。野菜は大好きである。・水遊びが大好きで、指にあかぎれを作ってしまう。(塗り薬、家庭から持参)。・衝動性、易興奮性の改善、対人関係の適切な距離感、TPO行動など。

「登校」→「かばんの中身を所定位置に置く」→「着替える」→「朝の運動」とルーティンを1年間繰り返し指導を行ってきました。まだ、少しの声かけによる誘導は必要ですが、ほぼ定着してきました。

体調不良や痛みの訴えはできません。

筋緊張の緩和については、毎日の歩行訓練の跡に緊張をしている側の広背筋をはじめ、肩関節周辺から背中にかけてのストレッチを取り組んできました。

- ①生活のリズム・・・学校では授業のはじめ、おわりはチャイムの合図でしり、あいさつを行う。
- ②生活習慣の形成・・・学校に来てからは、他の意どうと同じようにチャイムの合図で時間割通りに生活する(常時、介助員がつく)
- ③体調不良や痛みの訴え・・・顔の表情や体全体の様子を見て、といかけたり判断する。
- ④筋緊張の緩和・・・あまりみられないが訓練でマッサージを行う。

・睡眠、食事のリズムも安定しており病気で欠席がほとんどない生徒である。

・筋緊張の緩和としては、大型のパランスボールを教室に常備し、背中、腹、足などをボールの上に載せて、体をそらせたり回旋させたりストレッチを行っている。

<目標>・走ることを意識してランニングに参加する。

・定時排泄

<方法>・目標週回数、タイムの設定

・腕の振り、歩幅等を意識させる言葉掛け

・休み時間ごとのトイレへの誘導

○体温調節が難しく、37.5度以上の発熱時に発作を起こすことがある(採集H14年秋、朝夕服用)

○体調管理が難しく、体温測定、水分補給、休憩など細かな健康管理が必要である。

○気管支が弱いので、水分補給を頻繁に行う。肌が白く弱い。アレルギー性結膜炎がある。

○肥満度27.9%(H21.3)。保護者と確認を取りながら体重管理に心掛ける。

・積極的に熱心に取り組める授業時間とゆったり過ごす休憩の時間で毎日の日課に緊張とリラックスのメリハリをつけている。

・大勢やクラスの友達と一緒に授業と個別に一人でとりくむ時間をつくり集中できる時間をのばしてたい。

・家庭と連絡帳を利用して、その日の体調、前日の様子を情報としていただき学校での様子、トイレ時間、給食の様子を伝えている。

・リラックスした時間にストレッチをしている。

早寝、早起きであるが自宅以外では睡眠できない

(到達目標)・・・四肢及び体幹の筋緊張を緩和し、全身の血液などの循環を促すことを通して、拘縮の予防を図る。

(指導方法)・・・緊張部位に気付かせ、余計な力を抜かせる。交互運動や両側性運動に取り組ませ、筋緊張のバランスを低減させる。

(課題)・・・主体的により持続して力を抜き続けられること。より主体的に取り組める内容や取り組みせ方の工夫。

・言葉での指示も理解は出来ているが、友達や教師が同じ動きでやってみせることの方が安心感が大きくなり、生活習慣として定着しやすい。

・理由なく泣き出すことが発熱時に見られる。痛み(頭痛、咽頭痛、腹痛、打撲痛など)に対しては、その部位を指差して訴えることができる。但し、繰り返し訴え続けるので、処置をした上で、歌をうたったりして楽しい気分に戻ることで忘れさせるようにしている。

・音楽(ポニョ・トロ・・・等のアニメソング等)をかけると、筋緊張の緩和につながる。歩行学習等では、歌を歌理ながら歩くこと出リズムカルな歩行ができる。音楽をかけることで、ストレッチ運動もやりやすい。

資料2 個別の指導計画のとおり

①生活のリズム・・・日常生活のリズムの中で大きなウエイトを占めているのは、やはり睡眠時間だが現在は家庭での服薬がうまくいって、きっちりと睡眠時間をとれつつある。寝不足気味のときは、保護者の連絡帳にて把握し、あまり無理させないように配慮している。

・学校生活の流れや見通しを持たせる意味もあって、クラスでは時間割カードを並べる係を毎日している。

②体調不良・・・本人からの訴えとしてあるのは、傷ができて、ばんそうこうを貼った時や「かゆい」とか「ケガをした」ということが気に掛かり、誰かに伝えたいときは、ジェスチャーで「保健室(病院)」と伝えることが多い。

③筋緊張・・・身体的にどうしても、力みやすいので、「ゆっくり」「そっと」「やさしく」の声かけを配慮している。

・むやみに興奮させることがないように配慮している。

・抗けいれん剤を家庭にて服用している。

○到達目標・・・就寝時間と起床時間を安定させて規則的な生活を送らせる。

○課題・・・寝る時間は比較的早いけど、夜中の4時とか5時に起きることがある。